

# 4月から消費生活アドバイザー

おおいし 大石 裕子さん  
寺地団地・四十二歳

寺地の大石さんが「消費生活アドバイザー」になると聞いて、それはよかったと思った。大石さんといえば、立仏小のPTA会長を務めたり、社会教育委員をされたりしている人。テニス大会やデッサン教室でよく見かける人。国勢調査などの統計調査員を町から依頼されている人。会うたびに、輝いているな、と感じる人なのだ。

さて、消費生活アドバイザーだが、企業に消費者の意向や要望を、消費者に商品の知識を伝える企業と消費者のパイプ役というもの。市場調査商品テスト、消費者相談などを行う。通産省が昭和五十五年に作った制度である。資格を取得する試験は厳しく合格率は二〇〇程度。全国に三千人、県内には十人ほどしかない。

「実際にこの資格で何が出来るのか、どう役立てられるのか、いくつかの企業や消費生活センターなどで話している最中なんです」と大石さん。元々、資格を得ようと思ったのは「娘の受験勉強と一緒に私も勉強してみよう」と。一昨年通信教育を一年間受けた。「民法、商法、経済理論とか、もう全然わからなくて」。でも試験

は昨年秋に一発で合格。「三回やっただけならあきらめようと思っただけから、運がよかっただけです」と言うが、常日ごろの教育や社会活動の積み重ねが役立ったに違いない。

大量の新聞の切り抜きを見ながら「世の中って複雑でしょう。不安になりませんか。例えば、輸入食品はほんとに安全なのかどうか。農薬の空中散布は害がないのかどうか」と話す大石さんが、もっと



県内では10人ほどしかない消費生活アドバイザーの一人大石さん。「商品に無関心の人も多い。もっと関心をもっと、じぶんのことは自分で守るぐらいに考えてほしい」

いしてみた。企業には「消費者向けの窓口が必要でしょう。苦情処理ではなく広く声を聴いてほしい。これからは企業の社会性も問われます。利益を文化や環境保護などで社会に還元していただきたい」。消費者へは「商品にもっと関心を持った方がいいです。通信販売やカードクレジットは慎重にしましょう。一つ買物をしたら一つ賢くなりたいですね」という大石さん。輝きは一層増したようだ。(I G)

も着にしているのが環境問題。「森林破壊にしてもゴミ問題にしても消費のツケだと思えます。企業はよりよくなるから、消費者はより楽だから、といって自然を犠牲にしてきたのではないのでしょうか。消費生活アドバイザーの認定証が通産大臣から交付されたのは四月一日。早速、アドバイザーをお願いしてみた。企業には「消費者向けの窓口が必要でしょう。苦情処理ではなく広く声を聴いてほしい。これからは企業の社会性も問われます。利益を文化や環境保護などで社会に還元していただきたい」。消費者へは「商品にもっと関心を持った方がいいです。通信販売やカードクレジットは慎重にしましょう。一つ買物をしたら一つ賢くなりたいですね」という大石さん。輝きは一層増したようだ。(I G)

## ほんの一番 時の幻影館

横田順彌・著

(双葉社)

明治時代は、すでに江戸時代と同じく

時代小説の世界になりつつあるようです。岡本綺堂が『半七捕物帳』を書いた当時は、江戸時代でさえほんの少し昔という意識だったようです。

現代では、明治時代も江戸時代以前と同様に自由奔放な空想はばたく全くの異境と化した。伝奇小説の舞台になっているようです。この『時の幻影館』もそうした伝奇小説の一つとして楽しめるものです。

奇怪な話が七編収められていますが、惜しむらくはそれぞれが短かすぎる。でも同じ登場人物のでてくる長編もあるそうで、まだそれを読んでいない筆者は大いに期待しています。(この本は図書館に置いてあります)

### (人の動き)

2月末日現在 (前月比)	前年同月比
人口 23,359 (-18)	[+213]
男 11,464 (-8)	[+83]
女 11,895 (-10)	[+130]
世帯 6,224 (-7)	[+94]
2月1日～末日	
出生 17	転入 31
婚姻 6	転出 52
死亡 14	



\*訂正: 3月号の記事で、6ページの第1段4行目「7486万円」を「1億1486万円」に、同じ段15行目「19万1742円」を「19万214円」、16行目「1万6067円」を「3960円」に、第2段1行目「7%減少」を「2%増加」に、同じ段13行目「11164件(11.2%)」を「219件、0%」に、16行目「5万7655円、30.3%の減」を「5948円、4%の増」に、それぞれ訂正します。

春は明るくて、活気があってよいということになっているようだけれど、どうも浮かれすぎているような気がして、実はあまり好きが季節ではないのです。むしろ、秋や冬の方が落ち着いて好きだな、なんて思っているのですが。皆さんはいかがでしょう。▼四月から広報くろさきの編集は、岩野が一人で担当することになりました。これまで同様、よろしくお願いします。(岩野) 人事異動で四月から教育委員会社会教育の仕事することになりました。広報を通して皆さんの人と出会いお世話になりました。ほんとうにありがとうございました。(五十嵐)

四月から募集します  
◆カットやイラストの描ける人  
◆四コママンガの描ける人  
◆インタビューやレポーターをしたい人  
◆本を紹介してくれる人  
◆編集に興味を持っている人  
どうぞ、お気軽にお申し込みください。または、お知り合いを紹介してください。上手下手は問いません。申し込まれた方には順次依頼させていただきます。薄謝ですがお礼いたします。また、楽しい話題や頑張っている人もご紹介ください。  
▼連絡先: 役場企画開発課広報係  
☎ 377-13101 (内線46)

